

# 塔の乙女

— シベリウス唯一のオペラ、日本初演 —



## All Jean Sibelius Program

「塔の乙女」由来のコンサート序曲 【日本初演】

第1部

海辺のバルコニーで 作品38-2 (編曲/山田美穂) På veranden vid havet Op.38-2

アリオソ 作品3 Arioso Op.3

—— 駒ヶ嶺ゆかり (メゾ・ソプラノ)

フリッガに 作品13-6 (編曲/小沼竜之) Till Frigga Op.13-6

タイスへの賛歌 JS97 (編曲/小沼竜之) Hymni Thaisille JS 97

—— 鈴木啓之 (バリトン)



指揮：新田ユリ

第2部

オペラ「塔の乙女」JS101 【日本初演】

Jungfrun i tornet JS101

※コンサート形式・1幕8場スウェーデン語上演

台本：ラファエル・ヘルツベリ

キャスト：乙女/前川朋子 (ソプラノ)

恋人/北嶋信也 (テノール)

代官/鈴木啓之 (バリトン)

城の奥方/駒ヶ嶺ゆかり (メゾ・ソプラノ)

合唱/東京混声合唱団

管弦楽/創立40周年記念オーケストラ

2024  
11.29

開場 18:00

【プレトーク 18:30】

開演 19:00

## 豊洲シビックセンターホール

東京メトロ有楽町線【豊洲駅】・新交通ゆりかもめ【豊洲駅】 下車すぐ

入場料 【一般】5,000円※当日500円増

【協会会員】4,000円

【学生】2,000円 ※未就学児の入場不可

チケット購入

右のQRコードより購入フォームへお進み下さい。

お問い合わせ

✉ sibjpinfo@gmail.com ☎ 03-5934-3699

日本シベリウス協会事務局 (電話受付: 9時~17時)





若きシベリウスが「舟の建造」というカレワラ由来のオペラを断念したのは知る人も多い。しかし1曲だけ、完成させたオペラ作品がある。それが「塔の乙女-Jungfru i tornet」JS101。上演時間は40分弱の1幕もののオペラである。1896年にヘルシンキで初演。しかしその後シベリウスのオペラの世界が広がることはなかった。テキストはラファエル・ヘルツベリによるスウェーデン語の物語。代官によって塔に幽閉された乙女は、絶望の中でも恋人との愛を信じ続ける。合唱が神秘的な自然界の代弁者を担う。城の女主人の登場で急展開し、恋人との再会が叶った乙女は、愛の歓びに満ち、民衆と共に幸せな終幕を迎える。劇音楽には多く携わりながら、1曲だけを遺すにとどまったオペラの世界でシベリウスのペンがどのように振るわれたか、ぜひ皆様にお聴きいただきたく協会の創立40周年の年に日本初演を企画した。2年前には「塔の乙女」由来のコンサート序曲について研究発表されたフィンランドの指揮者トゥオマス・ハンニカイネンにインタビューを行い、この作品について伺っている。今回の公演ではこの序曲の演奏の許可もいただき、日本初演となる。公演前半には序曲とあわせて歌曲もお届けする。声の世界にシベリウスが遺した繊細で清新な響き、また言葉少ないながら描いた深い心情などご堪能いただきたい。

## キャスト

### 前川 朋子 (ソプラノ)



国立音楽大学音楽学部音楽学科卒業後、RI財団奨学生として渡独、ミラノにて研鑽。東京室内歌劇場公演 R・シューマン歌劇「ゲノフェーファ」題名役、二期会WEEK「白夜の国の歌曲たち〜森の精霊とともに」の企画・出演、アイノラ交響楽団定演にてシベリウス 交響詩「ルオンノタール」ソプラノソロ、鎌倉にてコンサートシリーズ「北欧フィンランドの調べ」を4回に渡り開催など。第3回イブラ・グランドアワードMature賞受賞。東京二期会、日本・フィンランド新音楽協会、日本シベリウス協会会員。

### 駒ヶ嶺 ゆかり (メゾ・ソプラノ)



札幌大谷短期大学卒業、同学研究科修了。98~01年フィンランドに留学。館野泉氏、マリア・ホロパイネン氏の許で研鑽を積む。帰国後、4年間全8回による『シベリウス歌曲全曲演奏会』（東京）を完遂。シベリウス「没後50年記念」「生誕150年記念」にて『Kullervo』のソリストを務める。札幌市民芸術祭大賞受賞。道銀芸術文化奨励賞を受け、札幌交響楽団とシベリウスの管弦楽歌曲を協演。18年「Finland-Japanリサイタルツアー」を行った。札幌文化奨励賞受賞。日本シベリウス協会理事、北海道国際音楽交流協会理事、(公財)北海道文化財団評議員、北海道二期会会員。

### 北嶋 信也 (テノール)



東海大学教養学部芸術学科音楽学課程卒業、同大学院芸術学研究科音響芸術専攻修了。二期会オペラ研究所マスタークラス修了時に優秀賞及び奨励賞を受賞。チューリッヒ歌劇場のオペラ研究所修了。同歌劇場公演『海賊』セリーモ役でデビューし、『西部の娘』ハリー役など10演目に出演。帰国後、東京二期会公演『イドメネオ』アルバーチェ役、『後宮からの逃走』ベドリッコ役を好演。東海大学非常勤講師、二期会 Ai-Ko-Ka 講師、二期会会員。

### 鈴木 啓之 (バリトン)



第8回大阪国際音楽コンクール最高位入賞。多くのオペラで主要キャストを務める。コンサートでは「メサイア」「第九」「クツレルヴォ」等のソリストとして多くのオーケストラと共演。現在までに北欧歌曲を中心とした7回のソロリサイタル開催。田代雅子、原田茂生、奥村晃平、Jorma Hynninen、Marja Holopainen - Tatenoの各氏に師事。日本シベリウス協会運営委員、日本・フィンランド新音楽協会運営委員、東京二期会会員。

## 指揮

### 新田 ユリ



1990年ブザンソン国際指揮者コンクールファイナリスト、1991年東京国際音楽コンクール<指揮>第二位受賞。東京交響楽団を指揮してデビュー後、国内主要オーケストラへ客演。2015年~2020年愛知室内オーケストラ初代常任指揮者を務める。2000年10月から1年間文化庁芸術家在外研修生としてフィンランド・ラハティ交響楽団にて音楽監督オスモ・ヴァンスカのもと研鑽。以後日本とフィンランドを拠点とする。現在日本シベリウス協会会長、日本・フィンランド新音楽協会代表。

## 合唱/管弦楽

### 東京混声合唱団



1956年に創設された日本を代表するプロ合唱団。東京・大阪での定期演奏会、内外のオーケストラとの共演やオペラへの出演、青少年を対象とした鑑賞音楽教室、海外公演を含む年間150回の公演のほか、数多くのレコーディングやテレビ、ラジオへの出演を行っている。レパートリーは、創立以来行っている作曲委嘱活動で生まれた250曲を超える作品群をはじめ、内外の古典から現代作品まで幅広く、各地の合唱団や青少年との合同演奏、指導者派遣、ワークショップ・解説付きコンサートも精力的に開催している。文化庁芸術祭大賞、音楽之友社賞、毎日芸術賞、京都音楽賞、レコード・アカデミー賞、サントリー音楽賞、中島健蔵音楽賞等を受賞。東京混声合唱団HP <http://toukon1956.com/>

### 創立40周年記念オーケストラ

協会理事のヴァイオリニスト佐藤まどかをコンサートミストレスとして今公演のために編成された。フィンランドで学び、活動してきたメンバーも多く、オーケストラが一丸となって未知の作品に向かう。

### 佐藤まどか (コンサートミストレス)



東京藝術大学大学院博士後期課程修了。イギリス、オーストリア、フィンランドにて研鑽を積み、シベリウスの研究で博士号を取得。シベリウス国際ヴァイオリンコンクール第3位ほか受賞多数。ソリストとしての活動を中心として、室内楽や現代音楽など多彩な演奏活動を展開し、的確な洞察力と豊かな表現力は国際的にも高い評価を受けている。上野学園短期大学准教授。contemporary αメンバー。日本シベリウス協会理事。

## 日本シベリウス協会とは

1984年12月8日、指揮者の故渡邊暁雄を初代会長としてスタートした日本シベリウス協会。1990年からピアニスト館野泉がそのバトンを受け取り、2014年に指揮者の新田ユリに手渡すまで24年にわたり牽引。故大東省三、故菅野浩和といった北欧音楽研究の先駆者をはじめとして、各分野の専門家やシベリウスを愛する人が誰でも集える協会として成長してきた。世界各国のシベリウス協会や研究者との連携、日本初演の企画、フィンランドでのピアノ作品全曲演奏会等、活発な活動を展開している。現在会員数は198名。

